

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度  
公認弓道コーチ1 専門科目免除の取扱いについて

標記のこと、令和3年度の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度公認弓道コーチ1 専門科目免除について、下記のとおり申請条件をお知らせいたします。

本件に関しましては、別冊、標記制度の令和3年度版事務手続きマニュアルに沿って手続きをお願いいたします。

記

<免除条件対象者>

条件1：錬士取得後4年以上の者（教士・範士取得者含）

条件2：五段取得後4年以上の者

条件3：学校教育法の定める教員（忒段以上）で、  
弓道部指導者として所属長の推薦がある者

◎上記の条件を満たした者は、次の課題レポートを提出すること。

※従前は本連盟主催講習会またはその伝達講習会の受講が免除条件となっておりましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会の開催が困難な状況もあり得ることから、その条件を本年度のみ特例として除外します。

<令和3年度課題>

条件1 対象：指導者として自身のあるべき姿勢や心構えについてどう考えているか述べてよ。

条件2 対象：弓道が人々に持続的に愛好されるのはなぜか述べてよ。

条件3 対象：弓道部員が弓道で如何なることを学ぶことに期待するか述べてよ。